

中国の文化Ⅸ 第12回

# 北宋時代(上)

科挙制度と“負心”文学の誕生

1600BC  
1500BC  
1400BC  
1300BC  
1200BC  
1100BC  
1000BC  
900BC  
800BC  
700BC  
600BC  
500BC  
400BC  
300BC  
200BC  
100BC  
0  
100  
200  
300  
400  
500  
600  
700  
800  
900  
1000  
1100  
1200  
1300  
1400  
1500  
1600  
1700  
1800  
1900  
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265      蜀 221-263      呉 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代      東晋 317-420

北朝 439-589      南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼      **北宋 960-1127**

金 1115-1234      南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-



中国が北宋時代だったころ、  
日本は何時代？

# 中国大陸



# 朝鮮半島



# 日本列島



## 俗文学Ⅱ庶民文学の時代へ

唐宋変革期を経て、中国社会は貴族の時代から庶民の時代へと姿を変えていく。

科挙は、身分や家柄に関係なく、誰もが官吏となって政治に参画し、富と栄誉を得る機会を保障した。その結果、社会階層の流動性が高まり、教育が普及していった。

文学の主体も貴族から庶民へと移る。韻文での詞の隆盛とともに、宋代には本格的な演劇が登場する。散文では仏教思想と絵解き講釈の影響を受けた白話小説（口語小説）が出版された。

# 講義内容

第一節 北宋——庶民時代の到来

第二節 科挙と文人官僚——柔構造の封建社会

第三節 “負心”文学の誕生  
——科挙制度と礼教制度が生んだ悲劇



第一節

北宋

庶民時代の到来



1600BC  
1500BC  
1400BC  
1300BC  
1200BC  
1100BC  
1000BC  
900BC  
800BC  
700BC  
600BC  
500BC  
400BC  
300BC  
200BC  
100BC  
0  
100  
200  
300  
400  
500  
600  
700  
800  
900  
1000  
1100  
1200  
1300  
1400  
1500  
1600  
1700  
1800  
1900  
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265      蜀 221-263      吳 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代      東晋 317-420

北朝 439-589      南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼      北宋 960-1127

金 1115-1234      南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

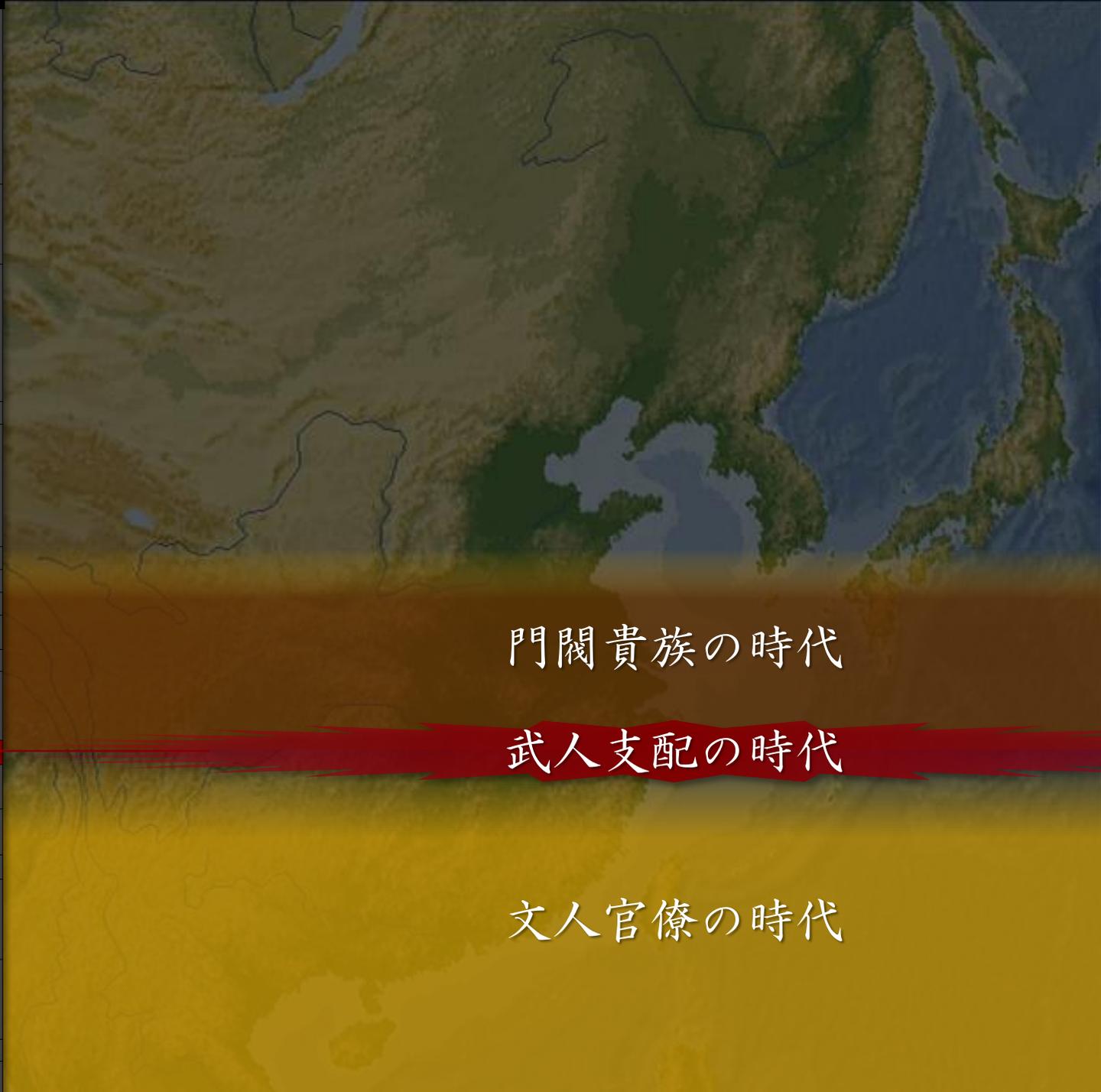
中華民國 1912-1949

中華人民共和國 1949-

門閥貴族の時代

武人支配の時代

文人官僚の時代



中国大陸

朝鮮半島

日本列島

# 東アジアの科挙制度と文官統制

後漢  
25-220

弥生時代





## 後醍醐天皇と建武の新政

後醍醐天皇は、鎌倉の武家政権を倒した後、中国の皇帝専制に倣って天皇による親政をめざした。

しかし中国の皇帝専制を支えていた科挙による人材登用と文官優位の体制が築かれていなかったため、足利尊氏ら武士の離反に遭い、新政は失敗に終わった。

\*図版は重要文化財「絹本着色後醍醐天皇御像」

(神奈川県藤沢市遊行寺(ゆぎょうじ)蔵)

A dark, textured background featuring a map of East Asia, including the Korean peninsula, Japan, and parts of China. The map is rendered in shades of brown, green, and blue, with a slightly grainy, historical appearance. The text is overlaid on this map.

第二節

科挙と文人官僚

柔構造の封建制度の完成

1600BC  
1500BC  
1400BC  
1300BC  
1200BC  
1100BC  
1000BC  
900BC  
800BC  
700BC  
600BC  
500BC  
400BC  
300BC  
200BC  
100BC  
0  
100  
200  
300  
400  
500  
600  
700  
800  
900  
1000  
1100  
1200  
1300  
1400  
1500  
1600  
1700  
1800  
1900  
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265      蜀 221-263      吳 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代      東晋 317-420

北朝 439-589      南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼      北宋 960-1127

金 1115-1234      南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-



隋はこの制度を始めたのか？  
が南朝陳を滅ぼし、天下を統一  
する直前の五八七年だが、なぜ  
科挙制度が始まったのは、隋



## 科挙制度

北方の遊牧民にルーツを持つ北朝から興った隋王朝は、南朝の漢族社会に根を張っていた門閥貴族の影響力を排除するため、五八二年、門閥貴族に有利であった「九品官人法」（三国時代の魏に始まる官吏登用法）を廃止し、五八七年、民族や身分、家柄に関係ない実力本位の官吏登用法を始めた。科挙制度である。

隋・唐代には、門閥貴族と科挙出身者の勢力は拮抗していたが、五代十国時代に武人支配によって門閥貴族は没落すると、科挙出身者が官職を占め、政治の実権を握るようになった。

# 庶民に開かれた官僚への道

わが洪一族①はもともと徽州②に住んでいたが、唐末の戦乱を避け、楽平の東七十里にある巖前あるいは洪源という地に移り住んだ。戸数は百戸余り。代々農業を生業としていた。

盤洲老人小伝(南宋)洪适盤洲文集卷三三所収

## 【解説】

①鄱陽(江西省波陽)の洪一族は南宋時代、洪皓と善その子适其遵其邁らの文人官僚を輩出した名門。  
②徽州知安徽省歙之訛筆也。其末以投鉅為能至不幸有沸鼎之謗諸君當以所聞於師者為其郷一洗之

## 盤洲老人小傳

盤洲老人洪景伯名某初名造字温伯亦字景温饒州人高祖行第八妣章氏夫人曾祖考少保妣何氏紀國夫人祖考太師秦國公妣董氏秦國夫人考徽

盤洲文集卷三十三

五

申辰

猷閣直學士兼直學士院贈太師魏國公謚忠宣妣沈氏魏國夫人洪族本居徽州唐末避亂徙樂平之東七十里曰巖前曰洪源凡百餘家世世業耕桑高祖志操不群力教二孫欲振起門戶自巖前常以幹至郡去郡四十里曰滄港舟過之愛其水朝山遠可卜宅兆於是每歸必以魚鹽遺主人雷氏歲久浸熟秋成則買穀百許斛分寄諸家嘗置酒聚其族曰誠慙歲以穀相溷欲謀數文地自作倉以貯可乎皆曰諾獨一叟持不可或言叟性木彊不可回唯婦言是畏因餌嫗雙縑嫗譙其夫曰洪八翁仕來吾里如骨

洪家家系图



徽州(安徽省歙县)

鄱陽(江西省鄱陽)

庶民に開かれた官僚への道

(曾祖父・洪士良のとき) 祖父(子  
中大夫・炳)が若くしてこの世を去  
り、幼い二人の孫が残された。

曾祖父は悲嘆に暮れたが、二人の  
孫が独り立ちできるようと町へ連  
れて行き、優秀な先生を探して教育  
を受けさせた。

先君述(南宋)洪适盤洲文集卷七四所収

盡息紀愛其出隆於已生叔妹娣姒細麤柔剛不同  
一切得其歡心中外語婦德之最必以為法即世五  
年先君始還以不見為戚故終不忍復娶洪氏始居  
樂平之金山自曾祖府君種德重義以氣節聞子中  
大夫蚤世二孫幼府君慨然思所以成立計即挈諸  
城中訪先生之賢力教之因占籍鄱陽長孫諱彥昇  
起家遂給事中太中雖不遇至先君益顯八男子适  
左奉議郎主管台州崇道觀導左朝奉郎秘書省正  
字兼權中書舍人邁左宣教郎通州袁州逖右宣義  
郎徽州婺源縣丞遜右承務郎僉書連州判官事邈

洪家家系图



鄱陽(江西省鄱陽)

庶民に開かれた官僚への道

元豊乙丑年（一〇八五年）、祖父の兄  
洪彦昇が初めて進士となり、家運を  
興した。

三十年後の政和乙未年（一一一五年）、  
父・洪皓（忠宣公）がこれに続き、二十  
七年後の紹興壬戌年（一一四二年）、  
私と弟の遵が博学宏詞科に合格。三  
年後の乙丑年（一一四五年）、弟の邁も  
これに続いた。

盤洲老人小伝（南宋）洪适盤洲文集卷三三所収

肉求一片地奈何不與叟即呼人書畀相授高祖疾  
革命家人曰葬我必於滄港倉下後世青紫當不絕  
後十六年當元豊乙丑伯祖給事中始以進士起家  
又三十年政和乙未忠宣公繼之又二十七年紹興  
壬戌某同元弟遵中博學宏詞科後三年乙丑仲弟  
邁繼之給事之後官者七今一人存忠宣之弟姪官  
者九今兩人存子孫曾孫官者二十六今二十二  
人存皆高門澤也忠宣在南荒常歎曰秦氏置我死地  
曾祖潛德燾後慈章無因齎恨泉下矣某既點西府  
納所當轉官勾高祖卹典且奏臣下延恩雖極三世

洪家家系图



鄱陽(江西省鄱陽)

庶民に開かれた官僚への道

祖父の兄・洪彦昇(給事)の子孫で官途に就いた者は七人、いまでも一人が存命である。洪皓(忠宣)の甥で官途に就いた者は九人、いまでも二人が存命である。

子孫で官となった者は二十六人、いまでも二十二人が存命で、いずれも一門を繁栄させている。

盤洲老人小伝 (南宋) 洪适盤洲文集卷三三所収

肉求一片地奈何不與叟即呼人書畀相授高祖疾革命家人曰葬我必於滄港倉下後世青紫當不絕後十六年當元豐乙丑伯祖給事中始以進士起家又三十年政和乙未忠宣公繼之又二十七年紹興壬戌某同元弟遵中博學宏詞科後三年乙丑仲弟邁繼之給事之後官者七今一人存忠宣之弟姪官者九今兩人存子孫曾孫官者二十六今二十二

存皆高門澤也忠宣在南荒常歎曰秦氏置我死地曾祖潛德燾後遂章無因齎恨泉下矣某旣點西府納所當轉官勾高祖卹典且奏臣下延恩雖極三世

# 科擧の功罪～功

均分相続制

科擧制度

機会均等

流動性の高い社会

教育の普及

身分制度のない  
柔構造の封建社会



マテオ・リツチ（一五五二〜一六一〇）

〔解説〕

イエズス会士。イタリア生。

ローマ学院で数学、天文学を学んだ後、東方伝道を志し、一五八二年に澳門に到着した。

その科学知識によって中国人の尊敬を集め、一六〇一年には北京で明の万曆帝に拝謁し、北京在住の許可を得て、明末におけるキリスト教布教の先駆者となった。

1600BC  
1500BC  
1400BC  
1300BC  
1200BC  
1100BC  
1000BC  
900BC  
800BC  
700BC  
600BC  
500BC  
400BC  
300BC  
200BC  
100BC  
0  
100  
200  
300  
400  
500  
600  
700  
800  
900  
1000  
1100  
1200  
1300  
1400  
1500  
1600  
1700  
1800  
1900  
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265

蜀 221-263

呉 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代

東晋 317-420

北朝 439-589

南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼

北宋 960-1127

金 1115-1234

南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-

門閥貴族の時代

武人支配の時代

文人官僚の時代

マテオ・リッチが訪中(1582~1610年)

マテオ・リツチ(一五五二〜一六一〇)

〔解説〕

中国語や中国の古典に精通した彼は、キリスト教の教理問答集である『天主実義』を著した

また中国の科学者・徐光啓とともにユークリッドの『原論』を翻訳した『幾何原本』を出版した。

幾何原本第一卷

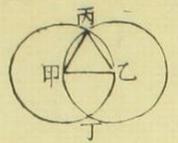
本篇論三角形 計四十八題

泰西利瑪竇口譯

吳淞徐光啓筆受

第一題

于有界直線上求立平邊三角形



法曰甲乙直線上求立平邊三角形先以甲爲心乙爲界作丙乙丁圓次以乙爲心甲爲界作

丙甲丁圓兩圓相交于丙丁末自甲至丙丙

至乙各作直線即甲乙丙爲平邊三角形

論曰以甲爲心至圓之界其甲乙線與甲丙甲丁線等



## ヨーロッパの宣教師が見た科挙

「中国の政治について語るには、まず中国で行われている文科系の学問とそこで与えられる種々の学位について言及する必要がある。

この学問と学位とが中国統治の根幹をなしており、その点、中国は他の諸国と著しく異なっている。」

マテオ・リッチ報告書\*第一巻第五章

\*マテオ・リッチが晩年（一六〇八年）、北京で綴った中国での布教に関する回想録。



## ヨーロッパの宣教師が見た科挙

「四書五経の中で述べられている道徳説はなかなか立派なもので、歴代の王の定めにより中国の士大夫はこの書物を知識の根本としている。

この道徳学の学位は世間でももつとも尊ばれる学位(科挙の合格者に与えられる進士などの称号—引用者)で、それを授与された者が国政にたずさわる。」



## ヨーロッパの宣教師が見た科挙

「この国は一人の王によって統治され、王位は世襲されています。」

しかし、それ以外の点では君主政体というよりも、むしろ共和政体\*だと思えます。国王の親族は遠縁に至る者まで国政上の職務につくことはできません。」

マテオ・リッチ書簡（一五九七年九月九日）

\*身分制度なき封建社会



## ヨーロッパの宣教師が見た科擧

「国政はすべて文官の手中にあります。」

文官ははじめは小さな職についていますが、四年か五年に一度、業績に応じて昇進します。時には位を下げられることも官職から追われることもあります。この昇進には九段階があります。」

マテオ・リッチ書簡(一五九七年九月九日)



ヨーロッパの宣教師が見た科擧

「軍の指揮官にも九階級ありますが、彼らはみな文官に服従\*ることになっています。」

このため文官の第七等や第八等の位の者の方が、軍人の第一等の位の者より世間から尊敬を受けています。」

マテオ・リッチ書簡(一五九七年九月九日)

\* 文官統制……軍事力を持つ武官の専横を防ぐため、文官が武官を統率する制度

イエズス会の学校がヨーロッパで  
初めて筆記試験を採用(1599年)

高麗が唐の制度に倣って  
科挙制度を始める(958年)

隋が科挙制度を始める  
(587年)

式部省が秀才・明経などの官人  
登用試験を始める(8世紀)

# 受験競争の始まり

一九六八年にリリースされ、累計で九〇万枚の大ヒットとなった高石友也（一九四一〜）のフォークソング。

戦後のベビーブームで大学受験者数が急増し、「受験地獄」と呼ばれた時代の受験生の心情を歌っている。



# 科挙の功罪～罪

四書五経

科挙制度

一極集中

不毛な丸暗記教育 過度の受験競争

近代科学の発達の遅れと  
受験地獄

# 科挙制度はいつまで続いたのか？

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265 蜀 221-263 吳 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代 東晋 317-420

北朝 439-589 南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼 北宋 960-1127

金 1115-1234 南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民國 1912-1949

中華人民共和國 1949-

隋の文帝が科挙制度を始める(587年)

武人支配の時代

文人官僚の時代

最後の科挙を実施(1904年、翌05年廃止)



## 科挙の悲劇を描いた文学

### 〔解説〕

中国近代を代表する作家・魯迅は一九一九年、雑誌『新青年』に「孔乙己」という短編小説を發表した。

科挙の予備試験にも合格できなかった一人の没落知識人の哀れな末路を描いた作品である。



程十發「孔乙己鏡心」（一九五六年画）

## 実在した「孔乙己」のモデル

（孔乙己は）本当の姓を孟という。  
みんな孟夫子と呼んでいたので、本  
名はわからない。（中略）

彼は貧しさのあまり、書坊に入っ  
て物を盗み、人に見つかったとき、  
「窃書は偷にあらず」と強弁したが、  
これはみな本当のことである。

周作人『魯迅小説裏的人物』上海出版公司、一九五四年

### 第三節

# “負心”文学の誕生

科挙制度と礼教制度が生んだ悲劇

# 科擧の功罪～罪

儒教倫理

科擧制度

受験制限

礼教制度

男尊女卑

裏切りと復讐を主題とする  
負心文学の隆盛

# 科挙制度はいつまで続いたのか？

1600BC	殷 1600BC頃-1046BC		
1500BC			
1400BC			
1300BC			
1200BC			
1100BC			
1000BC			
900BC	周 1046BC-771BC		
800BC			
700BC			
600BC	春秋戦国時代 770BC-221BC		
500BC			
400BC			
300BC	秦 221BC-207BC		
200BC			
100BC			
0	漢 206BC-220AD		
100			
200			
300	魏 220-265	蜀 221-263	呉 222-280
400	晋 265-316		
500	五胡十六国時代		東晋 317-420
600	北朝 439-589	南朝 420-589	
700	隋 581-619		
800	唐 618-907		
900	五代十国 907-960		
1000	遼	北宋 960-1127	
1100			
1200	金 1115-1234	南宋 1127-1279	
1300	元 1271-1368		
1400			
1500	明 1368-1644		
1600			
1700	清 1616-1912		
1800			
1900	中華民国 1912-1949		
2000	中華人民共和国 1949-		

隋の文帝が科挙制度を始める(587年)

武人支配の時代

演劇が誕生し、負心文学が上演される

文人官僚の時代

最後の科挙を実施(1904年、翌05年廃止)

## 演劇の誕生と負心文学

南戲は北宋の光宗時代(西暦一一九〇〜九四年)に始まった。永嘉(浙江省温州)の人が作った『趙貞女』、『王魁』の二種がその最初のものである。

(明)徐渭『南詞叙録』叙文



南  
詞  
叙  
録

## 演劇の誕生と負心文学

『趙貞女蔡二郎』は、蔡伯喈が親を捨て、妻を裏切り、雷に打たれて死んだという旧作である。民間の虚妄の作だが、戯文の最初の作品である。

『王魁負桂英』は、王魁、名は俊民、(科挙に)状元で合格した(実在の)人物だが、これも民間の虚妄の作である。

(明)徐渭『南詞叙録』宋元旧篇



南詞叙録

王魁負桂英(王魁、桂英を裏切る)

王魁は、萊州北市の廓町で(妓女の桂英と)出会った。王魁は当時、科挙の試験に失敗したばかりだった。

桂英は「あなたは受験勉強に励んで。暮らしに必要なものは私が用意するから」と励まし、王魁は每晚、彼女のもとに通い続けた。

(宋)張邦基『侍兒小名錄拾遺』所引『摭遺』



莆仙戲「王魁与桂英」

王魁負桂英(王魁、桂英を裏切る)

翌年、再び科擧の詔があり、桂英は王魁のために旅の支度をした。出發の時、州の北にある望海神廟へ行き、こう誓いを立てた。

「私と桂英は決して互いを裏切るようなことはいたしません。もし生前に相手を捨てるようなことがあれば、神よ、天罰を与えたまえ！」

(宋)張邦基『侍見小名録拾遺』所引『撫遺』



莆仙戲「王魁与桂英」

王魁負桂英(王魁、桂英を裏切る)  
ところが、科挙に首席で合格した  
王魁は、父親が取り決めた崔氏と結  
婚してしまおう。

王魁が徐州僉判の役職を与えられ  
ると、何も知らぬ桂英は「徐州はこ  
こから遠くない。きつと迎えの人を  
よこしてくれるはず」と、使いの者  
に手紙を届けさせる。しかし役所で  
裁判を行っていた王魁は、怒って手  
紙を受け取らなかつた。

(宋)張邦基『侍兒小名録拾遺』所引『摭遺』

画)莆仙戲「王魁与桂英」



王魁負桂英（王魁、桂英を裏切る）

桂英は「まさか王魁さんがこんな  
に薄情とは。死んで復讐してやる」  
と、刀で首を斬って死んだ。

（宋）張邦基『侍兒小名錄拾遺』所引『摭遺』



莆仙戲「王魁与桂英」

王魁負桂英（王魁、桂英を裏切る）

王魁が南都の試院にいと、誰かが蠟燭の明かりの下から出てきた。桂英である。

王魁が「お変わりありませんか」とたずねると、桂英は「あなたが薄情にも誓いに背いたお蔭で、私はこんな姿になってしまいました」といった。

（宋）張邦基『侍見小名録拾遺』所引『摭遺』



莆仙戲「王魁与桂英」

王魁負桂英(王魁、桂英を裏切る)

王魁は「私が悪かった。あなたのために寺に寄進をし、経をあげ、紙銭を焼きます。だから許してください」と許しを乞うた。

しかし、桂英は「私が欲しいのはあなたの命だけ。ほかのことはどうでもいい」といい、王魁はついに殺されてしまった。

(宋)張邦基『侍兒小名録拾遺』所引『摭遺』



莆仙戲「王魁与桂英」

## 現代の負心文学

學歷偏重の伝統を持つ中国社会では、いまも學歷による社会格差や「負心」をテーマとした文学作品が作られている。

その一つに二〇〇七年に放映されたドラマ「愛是一颗幸福的子弹」がある。

二十五集电视连续剧

愛 是一颗

幸福的子弹  
LOVE IS A BLESSED BULLET



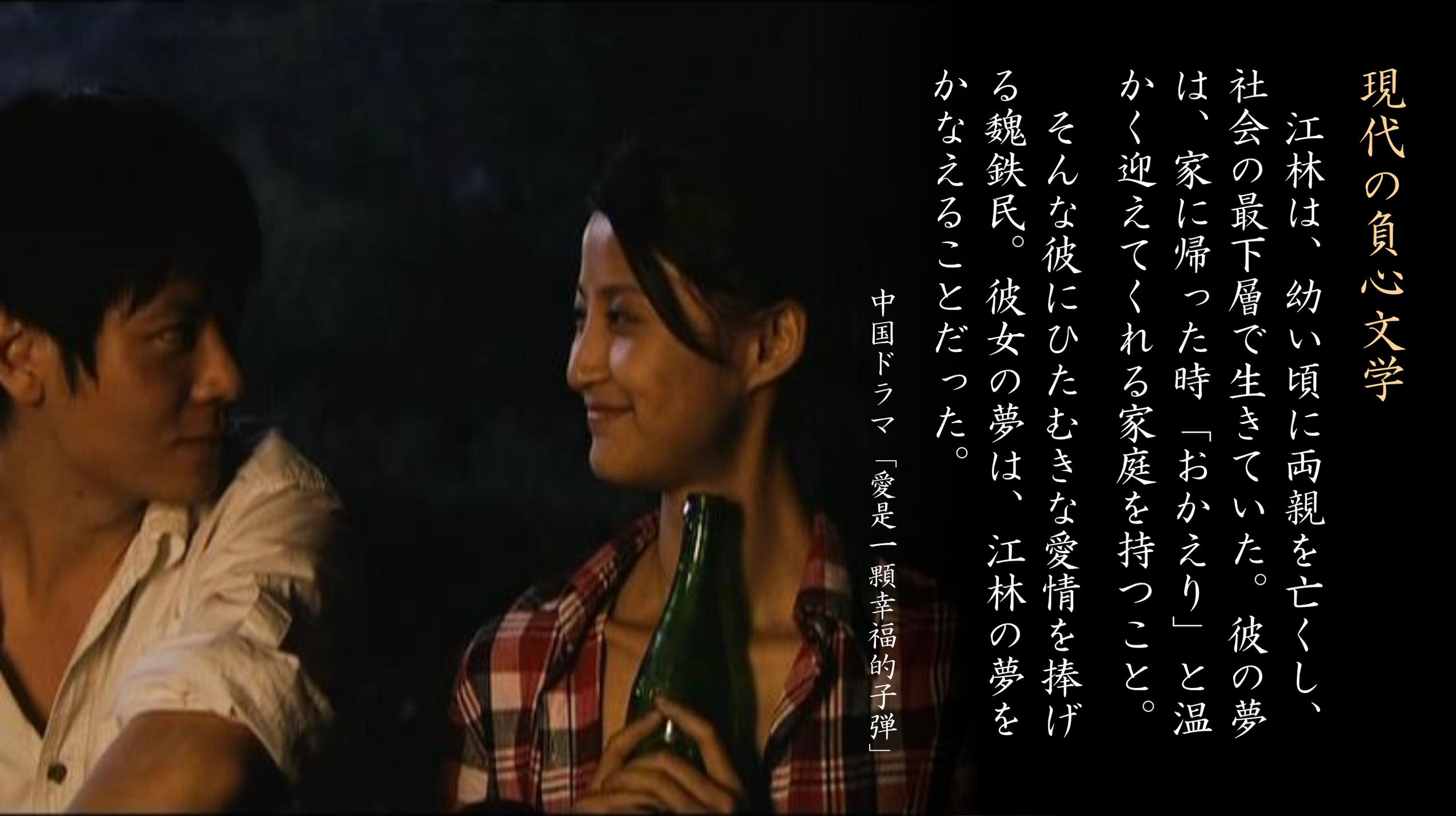


## 現代の負心文学

江林は、幼い頃に両親を亡くし、社会の最下層で生きていた。彼の夢は、家に帰った時「おかえり」と温かく迎えてくれる家庭を持つこと。

そんな彼にひたむきな愛情を捧げる魏鉄民。彼女の夢は、江林の夢をかなえることだった。

中国ドラマ「愛是一颗幸福的子弹」



## 現代の負心文学

江林は、ある日、一人の高級幹部の娘と出会う。

「運命を変えたいのなら、私が助けてあげるわ」。

高級幹部の娘という後ろ盾を得た江林は、上層社会に這い上がるため、大学受験に向けて猛勉強を始める。

中国ドラマ 「愛是一颗幸福的子弹」



## 現代の負心文学

そうとは知らぬ魏鉄民は、江林が  
大学に合格できるようにと、物心両  
面で彼を支える。

中国ドラマ「愛是一颗幸福的子弹」



# 現代の負心文学

ところが、大学に合格した江林は、魏鉄民に別れを告げ、高級幹部の娘のもとへ去っていく。

中国ドラマ「愛是一颗幸福的子弹」





## 現代の負心文学

大学卒業後、故郷の銀行で要職を得た江林は、魏鉄民と再会する。

江林が去った後、彼の親友と結婚した彼女は、やがてその夫にも裏切られる。

中国ドラマ 「愛是一颗幸福的子弹」



## 現代の負心文学

二人の男に裏切られ、心に傷を負った魏鉄民。

そんな彼女のひたむきな愛情を思い出し、本当に大切なものは何かに気づいた江林は、彼女に許しを求め、すべてを捨ててやり直すことを誓う。

中国ドラマ「愛是一颗幸福的子弹」



